

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年4月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673000156
法人名	医療法人祐志会
事業所名	グループホーム 花々館
所在地	鹿児島県日置市伊集院町徳重3丁目3番地14 (電話) 099-273-8787
自己評価作成日	令和3年3月13日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年3月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

心がけていることは、入居者がそれぞれのペースで穏やかに毎日が過ごせるよう各職員が情報共有をしながら支援することです。日置市の中心部に位置し、地域の行事や催し物にも積極的に参加させていただいていました。今年度はコロナ禍で交流がむつかしいところです。また、母体である守屋病院と医療連携看護師訪問や毎日の電話連絡等密に連携を行い、入居者様の健康管理を24時間体制で見守りご家族にも安心していただいています。少しずつですが、若い職員も増え、職員の得意なレクリエーションを行うことで、楽しい時間を入居者様に提供できるよう支援し、休憩時間にもミニ勉強会(ケースカンファ・学習会・問題点抽出等)の機会を増やし、質の向上をみんなで努力しています。

当ホームは、母体医療機関に程近く住宅型有料老人ホーム(併設の通所介護、訪問介護ステーション)や通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所などがあり、法人間の連携や応援体制が図られている。

ホームの理念は、パンフレット、重要事項説明書などに記載され、玄関や共有スペースに掲示されている。職員は、本人の心の声を大切に傾聴に努め、信頼関係を築きながら安心して、本人らしい生活・共に支え合う生活が達成できるよう、職員全員で目標に向かって取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染症禍であるが、利用者や家族の関係性が希薄にならないよう面会時は、事業所の運営状況や利用者の健康状態、介護の状況報告し、意見、要望などを聞き取り、運営に活かすよう取り組んでいる。

新規職員採用に力を入れており、2階ユニットを近く再開する予定であるが、職員は、業務の見直しやケアのしかたなどをスタッフ会議などで検討し、質の高いケアの実績に向け務めている。管理者や職員は、法人内外の研修を受ける機会の確保し、スキルアップが図れるよう支援している。

母体が医療機関であるため本人や家族の安心感が得られており、重度化し看取りに至る経緯についても、早い段階から主治医を中心に話し合いがなされホームででき得る最大のケアについて書面で説明し同意を得ている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	来訪者や職員、入居者様の見えるところに理念を掲示し、毎月のスタッフ会議で再確認することで、同じ目標に向かって実践できるように心がけています。	理念は、玄関や共通スペースなどに掲示され入居時、重要事項説明書にて説明している。職員は、心の声を大切に傾聴に努めユニットごとのケアカンファレンスや全体会議にて理念実現に向け話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方々とのあいさつ等の声掛けをさせていただいています。地区の自治会にも参加し行事があるときにはできる限り参加させていただいています。	自治会に加入し、地域の文化祭や七夕の灯籠出品、運動会の見学、事業所主催の夏祭り、敬老会を通じて地域住民と積極的に交流している。感染症予防のため現在は地域交流活動やボランティアの受け入れなどは自粛しているが、地域の方からは古新聞などを提供されるなど相互に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	去年はコロナ禍で中止となりましたが、毎年、地域の中学生の体験学習の協力もさせていただいております。職員の中には認知症サポーターとして地域の研修会のお手伝いもさせていただいています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月毎に運営推進会議（自治会長・日置市介護保険課・包括支援センター・ご家族代表・守屋病院・GH職員）で開催しております。ここ1年は書面開催ですが、質問や意見、助言をいただいています。	昨年2月以降は、会議は開催されておらず管理者は、運営状況や利用者情報などを会議メンバーに郵送するなどして伝え、意見・提案を聞き改善に取り組んでおり、事業所の自己評価などは書面にて行政に報告されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議や相談、助言等連携を取らせていただいております。また、市主催の勉強会や研修会にもできる限り参加するように努めております。	市担当者とは、面談や電話、メールなどで情報交換をおこない、生活保護課担当者との協力関係を築き事業所の運営状況などについて伝えながら指導や助言をいただき相互に協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会による勉強会を行っています。また、職員が手軽に手に取れるようにファイル（身体拘束廃止の指針）を配置しております。職員が知識を学び、共通認識を測れるよう努めています。	身体拘束廃止委員会があり、2ヶ月毎にテーマを決めて話し合われている。不適切な言葉使いや態度を取らないよう職員同士が注意し合い取り組んでおり、利用者の心の声を大切にケアすることを心がけ、また、行動を制限するようなことがないよう本人本位にケアしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	半年に1回虐待防止自己チェックリストの実施を行い、結果の報告等各自が気づきを常に意識できるように努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	毎年、年間研修計画の中に取り入れ、具体的事例を取り上げることで理解しやすいように努めております（今年は“不適切なケア”資料中心）。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者やご家族が不安や疑問を軽減できるように、繰り返し相談に応じるようにしています。契約時には再度書面を見ながら説明や確認を行い、ご理解、納得のもと締結し、一部を保管していただいております。改正事項についてはその都度同意書を作成、説明、了承印をいただいております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営委員会の参加者にご家族代表も参加していただいております。また、玄関内に運営規定を掲示し、第三者委員会のメンバーも提示させていただいております。ご家族訪問時ご意見がいただけるように、ご意見箱の設置、積極的に書いていただけるよう直接お願いもしています。	家族には、毎月1回程度は面会を進行しており、意見用紙を配布、利用者介護や事業所の実情を伝え、家族の意見、要望などを聞き取るようにしている。利用者とは、会話やレクリエーション活動、行事などを通じてコミュニケーションを取り意見などを聞き取り運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から職員とのコミュニケーションを心がけ、必要に応じて、事務局との連携をしています。毎月のスタッフ会議時（事務局も基本参加）に職員の意見や疑問、検討、改善を行い、共有認識や目標の共有化を図っています。	管理者は、毎月スタッフ会議やユニット毎のケア会議などで意見や提案を聞いたり、随時職員と個人面談している。法人は、ストレスチェックを毎年11月に実施し、職員が働きやすい職場環境を整備するよう努め2階ユニット再開に向けて職員全員で職務に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則を職員が見えるところに置き、自由に見れるようにしてあります。また、希望や不安、意向を話しやすいように、日頃よりコミュニケーションをとり、話しやすい関係作りに努めています。必要に応じて事務局に意見が届くようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スキルアップができるように研修や勉強会の情報提供、参加への声掛け（有給）や、本人の希望に応じた勤務調整も行い、スキルアップしやすいように努めております。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同系列にGHがあり、職員間の異動もあります。また、月1回の守屋病院内勉強会は合同となっております。去年の同系列のデイケアの夏ま釣りに参加しました。GHの管理者と事務局との向上委員会も不定期ですが開催しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前から面会（現在コロナ禍のため中止）やSW、主治医、看護師、担当ケアマネ、ご家族、本人連絡を取り、情報提供を受け、ご本人への理解を深めるよう努めております。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所に当初にも思いや意向をお聞きし、ご本人の様子を電話等でお知らせしています。不安の内容に何度でも相談や説明をさせていただき、不安の軽減を図っています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人やご家族の意向確認や相談しやすいように、居宅や病院（主治医・看護師・SW・リハビリ担当者等）の協力も得ながら、アセスメントを行うよう努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人らしさをを知り、身体状況や思いを知ること、できることに着目した安心できる居場所作りを心がけます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍なので、電話や訪問時に近況報告を行い必要品の準備をお願いしています。面会はガラス越しで短時間行っています。県外でない方については月1回は来所をお願い、その時には近況報告をさせていただいています。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人がこれまで大切にしてきた友人、知人との交流が途絶えることがないよう、家族の協力をもらいながら支援に努めている。(地域行事の参加・手紙・年賀状)	絵手紙の便りがあったり、妙円寺参りを楽しみにされる方もある。職員は、季節ごとの行事を話題にしながら馴染みの関係性が途切れることがないよう会話をしている。電話や手紙の取次ぎなどがあり、面会は感染予防に配慮し支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクレーションや行事の提供、テーブルの配置への工夫を行い、入居者同士が良いかわりが持てるように席の配置等もいつも同じではなく、工夫できるよう心掛けています。			
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去したご家族にも今年年賀状を送らせていただきました。また、守屋病院に入院されている方については様子伺いもさせていただいています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人やご家族とお話しする機会を作り、意向の確認や理解に努めております。毎月、ケースカンファを行い、ご本人に寄り添うことを念頭に個別に問題点の抽出、検討、把握、対応に努めています。	入居前は、なるべく利用者と面談して、生活歴や利用者・家族情報を参考にし本人の思いや意向などを把握するよう努めている。職員は、利用者の意思やこだわりを尊重し本人本位にケアしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やご本人、以前の担当者に生活歴等の情報を収集し、スタッフとの情報共有し、その人らしさへの理解がケアに生かせるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	身体状況を医療連携看護師とも共有し助言を受け、ご本人らしさや楽しみのある過ごしたかができるよう具体的支援ができるよう個別検討に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	常日頃より、ご本人の状態を把握に努め、ご家族や医療、各スタッフの意見を出してもらい、定期的なカンファレンス、モニタリングを行い、プランや支援方法に生かせるように努めています。	介護計画書は、利用者自身もイメージできるよう工夫して作成している。目標は、本人のやりたいことや趣味、日課が反映したものになっており、目標達成に向けて定期的カンファレンスをおこない、モニタリングを実施、柔軟に見直しを実施するなどしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の引継ぎ記録や個別介護記録のほかに毎月のケアカンファレンスを行うことで、職員間の情報や問題点の抽出、検討を行っています。体調不良時や退院後は個別に介護経過記録を作成しています。担当者会議録やケアプランの見直しにも活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎日の記録や毎月のケアカンファレンスを行うことで、具体的アプローチを共有できる。（個別の体操や散歩、脳トレ、レクリエーション、行事食等）		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ここ1年はコロナ予防のため、具体的協働は難しいですが、地域の訪問美容室を定期的に利用しています。今年の花見は地域の児童公園の散策を計画しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体が守屋病院で、全員がかかりつけ医となっており、医療連携加算をご家族の同意を得て取っております。定期受診や緊急時受診等がスムーズにできるように連携を密にとっています。	医療機関が母体ということもあり、本人や家族の安心感に繋がっている。他科受診は、家族に協力をいただき情報共有しているが、外来受診は、職員が対応しており、24時間オンコールにて主治医などと繋がり医療連携が図れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週1回以上の医療連携看護師の訪問があります。また、毎日入居者の状態報告、緊急時の連携を行っています。ご家族、ご本人、職員も安心していただいています。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入退院時にサマリを作成し、情報共有を行い、サマリについては全職員が確認できるようにしています。入院中に様子伺いを行い、病棟看護師や医療連携看護師や主治医とも状態や情報がわかるように努めております。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居契約時、ご家族に重度化対応に関する指針や同意書を書面を用いて説明し、同意書に署名捺印していただいています。身体状況に応じて主治医と連携し、ご家族にも再度状況を説明し意向を再確認しております。	利用者契約書に「看取りの指針」を載せ利用者、家族に説明をしている。また、重度化の指針については、指針で説明をおこない納得のいく最期が迎えられるよう主治医を中心に家族、関係機関と十分に話し合っている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変時や事故発生時のマニュアルの作成を行い、職員の手にもすぐ取れるところに置いています。また、院内勉強会でも年間計画に問い入れています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に1回の消防署の立ち合い、2か月に1回程度の勉強会や訓練を行っています。自治会長さんへの参加の声掛けをさせていただいております。</p>	<p>自治会とは、災害時の協力関係を築いているが、地域との関係性が課題である。備蓄は、ユニットごとに備えIH電器調理機器のためガスコンロを備えている。台風時などは、外部に避難場所が指定されており、利用者は、1回分の着替えをいつでも持ち出せるよう準備をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりのその人らしさについての理解が深まるよう、毎月のケースカンファレンス、スタッフ会議時の学び、休憩時間を利用しての具体的な検討ができるように努めております。	利用者の人格やプライバシーに配慮し、ケースカンファレンスでは個々の利用者に合わせた言葉使い、声かけなどを話し合っている。不適切な言葉使いなどは、職員同士が注意するよう心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴やマンツーマンでのおしゃべりの中でゆっくりコミュニケーションをとり、思いや意向を表現できる場作りに努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調を確認しながら、本人の意向を確認し、個別のアプローチに努めております。（朝食後の30分の臥床、ソファでの座位、塗り絵、外気浴等）		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	外出時の身だしなみに気を付け、劣化したものや不足しているものについてはご家族に協力をいただいています。定期的に衣替え等の整理もしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を立てる栄養課と協力して嗜好調査を行いました。また、口腔や嚥下状態に応じて食事形態や献立を工夫、改善できるように医療・歯科医・栄養士・職員と連携しております。	法人の管理栄養士からは、毎週栄養指導を受けたり、訪問歯科医などから指導や助言をいただき嚥下機能に応じた食事形態に努めるなどしている。テーブル拭きなど能力に応じて手伝いがあったり、季節が感じられるような食事を提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の水分量及び食事量の記録、月1回以上の体重測定、結果を医療連携看護師、栄養課と共有し、食事形態や献立の検討、改善に努めています。献立は管理栄養士作成。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎回の食前の口腔体操や食後のケアへの支援、洗浄液等のご家族への準備依頼、必要に応じて訪問歯科医受診、助言をいただき、口腔状態の維持、改善に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄リズムの把握をしながらその方にあったタイミングを探し、トイレでの排泄ができるように職員間の情報共有を行っています。各自のおむつ代についての勉強会も行いました。	布下着へと改善した方もおられ、おむつの使用状況を把握し、おむつ代が減らせるよう工夫している。利用者に合った声かけを工夫しており、昼夜問わずトイレ誘導したりおむつ交換するなどして排泄の自立支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材や献立の工夫、排泄についての学習を行っています。毎日医療連携看護師に排泄やバイタル等の報告を行い、服薬（追加・中止）についての指示を受けています。運動や体操、許可の出ている方への腹部マッサージ等を毎日できるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回予定を決めてはいますが、体調に応じて変更や時間をずらしたり清拭対応、2人体制等の提供を行っています。今のところ、入浴への強い拒否をされる方はいません。	本人の希望や身体状況に合わせて入浴時間も柔軟に検討している。車いすの方も多いため、足浴をしながらシャワー浴、かけ湯をしながら入浴介助をしている。本人好みのシャンプーなどを使っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状態に応じて休息や臥床への促し、環境整備、眠れない時の温かい飲み物の提供等行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師を中心に服薬の状態の確認を行い、確実に処方薬が服用できるよう、2重チェックを実施。心身の状態や様子についても密に医療連携を行い、服薬内容についても検討していただけるよう報告を行っています。職員が服薬説明書を見れるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯畳みがお好きな入居者がおり、テーブルで複数の入居者と畳んでもらっています。色塗りが好きな人、歌やTVが好きな方にはDVDで歌謡曲やコント等鑑賞してもらっています。嗜好品も禁忌事項がなければご家族に準備してもらっています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	以前はご家族と外出、外泊をされることもありましたが、コロナ禍で外出は難しい現状があります。個別で駐車場に出て外気浴や散策をしています。定期的外出として、ご家族、ご本人の希望により週1～3回守屋病院にリハビリ通院を行っています。	新型コロナウイルス感染症予防のため外出はほとんどできていない。天候や体調を見ながら近所の散歩や公園に行くなどしている。毎年春・秋の花見見物やソーメン流し、地域の文化祭、初詣や妙円寺参り見物などは、毎年の中行事だったが現在は自粛している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>少額のお金を財布に持っていらっしゃる入居者もいましたが、現在はおられません。ご家族に嗜好品や必需品の購入をお願いしたり、ご家族の希望で事務所に預かり金をしている方もあり、職員が代金と引き換えに購入することもあります。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>必要に応じて職員が電話をかけ会話していただくこともあります。年に何度か遠方のご家族から電話があり会話することもあります。友人からの絵手紙の定期便があります。GHから入居者ご家族（指絵入り）に年賀状を出しました。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>清潔に保てるように環境整備（消毒、換気、照明、湿度等）に努め、動線の確保や話しやすい配置の工夫を行っています。今は共有スペースにお雛様を飾っています。</p>	<p>廊下や共有スペースなどは、採光が保てるよう工夫し、壁には、手形で梅を形どった飾りや写真が掲示されている。また、行事を通じて季節を感じていただけるようレイアウトを工夫している。毎日、小まめに換気し、加湿器を活用したり、温度管理、消毒や清掃をおこない感染予防を徹底している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファに座る方、車いすのままの方、椅子に座られる方、その方の意向をお聞きしながら工夫しています。時にはお一人でテーブルで読書やテレビ鑑賞をされる方もいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>部屋がわからなくとも、見慣れた場所であることがわかるようにしてあります。また、トイレの近い方や職員の居場所がわかりやすい部屋等工夫することで安心できるように状況に応じてご家族の許可も得、変更することもあります。</p>	<p>枕元には、フェイスタオルを吊るし乾燥予防をしたり、介助バーにてベッドからの移動や起居動作などを円滑におこなえるよう配慮している。利用者は、使い慣れた物を持ち込み工夫し、居心地よく過ごせるよう配慮している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>必要と思われるところの手すり等の設置。起居動作がしやすいようにベッドサイドレールの交換等残存能力が安心していかせるように検討を重ねております。</p>			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない